

岡山県の土地改良

第45回全国土地改良大会福井大会開催

「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」がある
～ふくいで語る土地改良の未来～

10月11日（水）、サンドーム福井において第45回全国土地改良大会福井大会が開催された。大会スローガンである『「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～』の下、全国から約4,000名の土地改良関係者が参集し、岡山県からは37名が参加した。

山崎福井県土連会長の開会挨拶に始まり、主催者を代表し二階全土連会長（義経全土連副会長代読）の挨拶があった。その後、杉本福井県知事、山田越前市長、佐々木鯖江市長の歓迎のことばに続いて、武村農林水産副大臣、稲田衆議院議員、進藤全国水土里ネット会長会議顧問、宮崎全国水土里ネット会長会議顧問が来賓祝辞を述べた。

土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16名、全土連会長表彰44名に表彰状と記念品が授与され、岡山県からは真庭市の太田昇市長が全土連会長表彰を受賞した。

その後、青山農村振興局次長による基調講演に続き、南砺土地改良区定司理事長及び福井県土連川合理事から女性理事の登用についての優良事例紹介があった。

最後に福井県立大学の学生2名による大会宣言が高らかに読み上げられ、次期開催地である千葉県土連へ大会旗が引き継がれ式典の幕を閉じた。



【開会あいさつ】



【大会宣言】

大会宣言

“越山若水” 私たちが生まれ育った福井県の豊かな自然を表す言葉です。「越山」は、越前の緑豊かな山々を「若水」は、若狭の海へとつながる溪流、水の美しさを表しています。福井県の農業は、古くから稲作を中心に発展してきました。

農地の大部分が水田として利用されており、典型的な水田単作地帯のなかで、「集落の農地は集落で守る。」という集落の強い結束力を背景に行動で営農を行う「集落営農」が定着してきました。現在では、組織の法人化や大規模経営へと発展するケースも見られます。

また、先人たちは水田における労働生産性の向上を図るため、圃場の大区画化や汎用化、農業用排水路の整備など、土地改良事業を強力に推進し、効率的な営農の礎を築いてきました。ここ福井では、福井生まれの「コシヒカリ」や「いちほまれ」などの良食味米をはじめ、六条大麦や大豆、そばの生産が盛んに行われています。

全国的に農業従事者の高齢化、担い手不足が深刻化し、耕作放棄地が増加している状況ですが、「農は国の基（もとい）」です。スマート農業など、先端技術の活用や高収益作物の導入、プレミアムブランドの創出によって「儲かる農業」を実現させ、若者が憧れる農業にすること。そして、地域内外の人が交流する賑わいのある農村づくりに取り組むことが重要です。

私たちは、農業をはじめ、食や環境・文化など、幅広い「農」を学んでいます。「農」の未来を描き、持続可能な食糧生産に関わる技術力を体得し、「農の新時代」に対応できる力を養うことで、今後の新たな「農」の展開と「農村」の活性化を目指します。

そして、この実現のためには、農業生産の基盤となる水（みず）・土（つち）・里（さと）を私たちが受け継ぎ、より生産力を高める農地の整備を進めるとともに、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や頻発する自然災害への対策を進めながら、次世代に引き継いでいくことが責務であると考えています。

本日、「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」がある”のスローガンのもと、未来の土地改良について語り、夢のある農業と賑わいのある農村の創出を目指すことをここ福井の地で高らかに宣言します。

岡山県土地改良事業団体連合会 令和5年度第1回監事会及び令和4年度決算監査

7月10日（月）、岡山プラザホテルにおいて令和5年度第1回監事会を開催するとともに令和4年度決算監査を実施した。

田窪副会長常務理事、青野代表監事（美咲町長）の挨拶に続き、青野代表監事、成本監事（西大寺土地改良区理事長）を議事録署名人に選任し議事に入った。

議事第1号で令和5年度の監事会及び監査の計画が決定された後、監事会を一時中断、令和4年度の決算監査を実施し、適正に処理されている旨了承された。

その後、監事会が再開され、議事第2号で監査結果の今後の取り扱いについて説明を行い、議事第3号として業務受託契約のうち双方代理を回避するための理事と代表監事との契約について令和4年度の状態を報告した。



■監事会議事

- 議事第1号 令和5年度監査の実施計画について
- 議事第2号 監査結果の今後の取扱いについて
- 議事第3号 理事と代表監事との契約について（報告）

■監査

- 令和4年度決算監査
（令和4年4月1日から令和5年3月31日）

岡山県土地改良事業団体連合会 令和5年度第1回理事会開催

8月28日（月）、岡山プラザホテルにおいて令和5年度第1回理事会を開催した。

石井会長の開会挨拶に続き、近藤理事（高梁市長）、矢野理事（高梁川用水土地改良区理事長）を議事録署名人に選任し議事に入った。



理事会承認事項である議案第1号では県土連が所有する土地の売却について説明を行い、原案通り承認された。理事会承認総会付議事項である議案第2号では令和4年度事業報告・貸借対照表・収支決算及び財産目録について説明を行い、青野代表監事（美咲町長）の監査報告の後、原案どおり承認された。

■理事会承認事項

- 議案第1号 県土連の所有する土地の売却について

■理事会承認総会付議事項

- 議案第2号 令和4年度事業報告・貸借対照表・収支決算及び財産目録について

令和5年秋の叙勲

令和5年11月3日付けで令和5年秋の叙勲が発表され、県内の土地改良関係者では次の方が受章された。



【旭日双光章】

山野 通彦氏（前矢掛町長）

前矢掛町長の山野通彦氏が、長年の地方自治における功績が認められ、旭日双光章を受章された。山野氏は平成18年4月矢掛町長に就任し、令和4年5月までの約16年間町長を務めた。また、平成21年4月に岡山県土地改良事業団体連合会の理事へ就任し、令和5年3月までの13年間理事を務めていただいた。



【旭日双光章】

岡崎 章二氏（前西大寺土地改良区理事長）

前西大寺土地改良区理事長の岡崎章二氏が、長年の土地改良事業の発展における功績が認められ、旭日双光章を受章された。岡崎氏は平成24年10月から令和2年10月までの8年間西大寺土地改良区の理事長を務めた。

第56回岡山県農林漁業功労者表彰

岡山県の農林漁業の振興のために献身的な活動を続け、その功績が特に顕著で優秀な個人又は団体を表彰する「岡山県農林漁業功労者表彰」の今年度の受賞者が、10月2日（月）に岡山県から発表され、土地改良部門で次の3名の方々が受賞された。なお、表彰式は11月21日（火）に岡山市内で行われる予定である。

【知事表彰】

加藤 晃敏氏 倉敷市（上原井領土地改良区 理事長）



上原井領土地改良区の理事及び理事長として、長年にわたり土地改良区の健全な運営に寄与し、農業用施設の維持管理、水利調整等に尽力した。

また、施設の老朽化や操作員の高齢化が進む中、適切な用水管理を図るため、樋門や水路の長寿命化対策を進めたほか、平成30年7月豪雨では、管理施設の被災により用水供給に支障が生じたが、耕作可能な水田への用水確保のため、利水者間の調整に尽力するなど、地域農業の振興と被災した地域の復旧・復興に寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。

【農林水産部長表彰】

片山 敬史氏 岡山市（児島湾七区土地改良区 理事長）



児島湾七区土地改良区の監事及び理事長として、健全な土地改良区の運営に努めるとともに、2市にまたがる広大な受益地を潤す用排水路の適切な管理に尽力した。

また、農地への用水供給や洪水調整を担っている七区貯水池の堤防や最下流にある樋門の改修において、県や市と連携しながら地元との調整を図るなど、事業推進に貢献し、農業経営の安定と地域農業の振興、安全・安心な地域づくりに寄与した功績は極めて大きく、県民の模範である。

土田 正雄氏 矢掛町（美山川土地改良区 理事長）



美山川土地改良区の理事及び理事長として、健全な土地改良区の運営や農業用施設の適正な管理に尽力した。

また、改良区受益地内の上高末地区では、条件が悪い農地について、農家の高齢化とともに営農の継続が困難な状況となり、荒廃農地の増加が強く懸念されていたが、粘り強く地域をまとめ、ほ場整備を実現し、地域農業の持続的発展に道筋を付けた功績は極めて大きく、県民の模範である。

（功績概要は岡山県ホームページから引用）

令和6年度予算概算要求 農業農村整備事業関係予算5,338億円

農林水産省は8月、総額2兆7,209億円の令和6年度農林水産予算概算要求を財務省に提出した。競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備を計画的に推進する「農業農村整備事業関係予算」の概算要求額は、対前年度当初予算比119.8%増の5,338億円を計上した。

内訳は、農業農村整備事業（公共）が同119.8%増の3,980億円、農業農村整備関連事業（非公共）が同120.5%増の655億円、農山漁村地域整備交付金（公共）のうち農業農村整備分が同119.0%増の703億円となっている。

これにより、「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」を踏まえ、食料安全保障の強化、環境対応、人口減少への対応の3本柱を中心に、新しい資本主義の下、若者や意欲ある農林水産業者が夢をもって農林水産業に取り組めるような環境整備、元気で豊かな農山漁村の次世代への継承等の実現を推進する。

令和6年度農業農村整備事業関係予算概算要求額内訳

(単位：億円)

事 項	令和5年度 当初予算額	令和6年度 概算要求額	前年度比
農業農村整備事業【公共】	3,323	3,980	119.8%
農業農村整備関連事業【非公共】	543	655	120.5%
(<ul style="list-style-type: none"> 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業 農山漁村振興交付金)			
農山漁村地域整備交付金【公共】（農業農村整備分）	591	703	119.0%
計	4,457	5,338	119.8%

農業農村整備事業【公共】の概要

(単位：億円)

事 項	令和5年度 当初予算額	令和6年度 概算要求額	前年度比
国営かんがい排水事業	1,038	1,247	120.1%
国営農地再編整備事業	403	486	120.5%
国営総合農地防災事業	291	373	128.3%
直轄地すべり対策事業	7	7	100.0%
水資源開発事業	85	102	119.8%
農業競争力強化基盤整備事業	635	777	122.2%
農村地域防災減災事業	411	503	122.2%
中山間地域農業農村総合整備事業	49	60	122.2%
農村整備事業	72	88	122.2%
土地改良施設管理事業	213	237	111.3%
その他	127	135	106.3%
計	3,323	3,980	119.8%

- (注) 1. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。
 2. その他には後進地域開発特別法適用団体土地改良等関係開発指定事業補助率差額分を含む。
 3. 国営かんがい排水事業には土地改良施設突発事故復旧事業（直轄）、農業競争力強化基盤整備事業には土地改良施設突発事故復旧事業（補助）を含む。

令和5年度新規担当者研修、換地計画実務研修 及び換地委員等実務研修開催

7月19日（水）～20日（木）、岡山市の岡山県立図書館において、令和5年度新規担当者研修、換地計画実務研修及び換地委員等実務研修を開催した。

当研修は、土地改良区体制強化事業実施要綱に基づき、換地事務担当者の技能向上及び換地業務の円滑な遂行を図るために当会が毎年開催しており、今年度は県・市町村職員、土地改良区役職員及び地元換地委員等20名の参加があった。

研修では、換地を行う上で基礎となる土地改良法や換地理論から、土地評価・清算や換地設計基準・換地選定の方法等といった実務的な換地の作業について説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていた。

また、岡山地方法務局から令和5年4月1日施行の「民法改正」について情報提供があり、増加する所有者不明土地・建物への課題解決について新たな手法を学ぶ機会となった。



令和5年度土地改良区体制強化事業統合整備 推進研修（基礎研修）開催

8月22日（火）、愛媛県松山市のJA愛媛本館リジェール松山において、毎年、東日本・西日本の2ヵ所で開催されている土地改良区体制強化事業統合整備推進研修（基礎研修）が、今年度西日本では愛媛県で開催され、西日本各地から多くの土地改良事業関係者が参加した。

愛媛県土連小崎専務理事の開会挨拶に続き、全土連から「土地改良区の統合整備の推進について」及び「土地改良区の合併推進に資する滞納処分について」、農林水産省土地改良企画課から「土地改良区関係予算と男女共同参画について」の講義があった。

最後に、西条市小松町土地改良区から土地改良区の合併事例の発表があり、合併の目的や認可までの手続き、合併の成果や今後の課題などとても内容の濃い研修会であった。



中国四国水土里ネット女性の会 令和5年度通常総会及び研修会



8月31日（木）、岡山市の岡山県農業共済会館において、中国四国水土里ネット女性の会令和5年度通常総会及び研修会が開催された。当日は、各県女性の会の役員や、各県土連の職員など約30名が出席した。

この会は、今後さらに女性の活動を活発化し広く広報・啓発などを行うため、中国四国地域の各県に設立された女性の会が、同じ目標を持って連携し親睦を深めるとともに、情報交換や学習、提言、広報・啓発活動及び災害支援などをともに行動することを目的に令和4年度に設立された。

中国四国水土里ネット女性の会榎床会長（とっとり水土里の女性会会長）の開会挨拶に始まり、宮崎参議院議員、中国四国農政局古賀次長、進藤参議院議員（ビデオメッセージ）の来賓挨拶があった。

その後、議事に移り、議案第1号「役員を選任について」原案のとおり、しまね水土里女性の会若槻会長が、副会長に選任された。続いて、議案第2号「令和5年度活動計画（案）について」女性会活動の広報活動や、土地改良施設（ため池含む）の維持管理に関する研修、会員相互の親睦・情報交換などについて、原案どおり承認を受けた。

続いて、中国四国農政局農村振興部水利整備課大西管理調整官から「土地改良施設の維持管理について」をテーマに講演があった。講演では、土地改良施設の維持管理の重要性や公的管理及び支援の内容、農業用排水路等の安全管理対策として、土地改良施設における人身事故の発生状況及び安全管理対策の紹介があった。

その後の情報提供では、中国四国農政局農村振興部土地改良管理課赤澤係長から「中国四国管内土地改良区における男女共同参画」をテーマに、土地改良区における男女共同参画推進プロジェクト受託事業や、中国四国管内土地改良区における女性理事登用状況などの話があった。



令和5年度「水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno」開催

9月27日（水）、秋田県鹿角市のホテル鹿角において、全国水土里ネット女性の会とあきた水土里ネット女性の会が主催する、令和5年度「水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno」が開催された。

本大会は、各都道府県の水土里ネット女性の会会員及び関係者が一堂に会し、男女共同参画推進の意義をより一層深めるとともに、先進的取組事例等を学び、個々のレベルアップを図りながら、それぞれの地域において男女共同参画を推進し、新時代にふさわしい土地改良区の創造を図ることを目的とし、全国42道府県から約230名が参加した。

冒頭、あきた水土里ネット女性の会根本会長の開会挨拶があり、宮崎参議院議員から祝辞が述べられた。

続いて、農林水産省農村振興局農村政策部佐藤部長から、「土地改良区の未来を拓く多様な人材の活躍に向けて」をテーマに、基調講演が行われた。

その後、『「男女共同参画社会を実現するために」～今、始める。まずはあなたの「まち」の土地改良区から～』をテーマに、秋田県立大学長濱副学部長、大島堰土地改良区奥村理事長、大仙市大曲土地改良区今野理事、胆沢平野土地改良区千田理事長、島根県土連中尾理事による、パネルディスカッションにより活発な意見交換が行われた。翌日、28日（木）は、「女性たちがより豊かに、そして輝ける場所を求めて」をテーマに、3人の講師による現地研修トーク講演が行われた。その後、3コースに分かれて現地研修を行い大会が終了した。



地域話題を全国へ — 水土里レポート —

平成16年度から始まった水土里レポートは、地域の農村風景にコメントを添えた「水土里の風景」写真や、土地改良区が取り組む地域コミュニティに関わる活動の情報を、日本全国へ発信することを目的としており、このたび県内の水土里レポーターからそれぞれ地域の話が投稿された。

投稿されたレポートは、近日全国土地改良事業団体連合会のホームページに掲載される予定である。

(<https://www.inakajin.or.jp/report>)

所属	レポーター名	タイトル
水土里ネット高梁川用水	中村 真二	小阪部川ダム見学バスツアー
水土里ネット吉井川下流	前田 明彦	出前授業
水土里ネット児島湾七区	柏内 雅弘	七区小学校土地改良施設見学会の開催

土地改良施設見学会開催 — 児島湾七区土地改良区 —

10月10日（火）、児島湾七区土地改良区が主催する、令和5年度土地改良施設見学会が開催され、岡山市立七区小学校4年生12名が参加した。

この見学会は、児童が住んでいる地域にある農業用施設を見学するとともに干拓の歴史等を学び、自分たちが住んでいる七区地区についての知識を深めることを目的として毎年行われている。今回は、七区用排水機場、干拓堤防跡地、七区排水機場などの見学を行った。

各施設では、同改良区片山理事長やNPO法人美しい田園21の職員から、用排水機場のポンプや除塵機の仕組み・役割、干拓地の歴史等について説明が行われ、児童は熱心にメモを取りながら説明を聞いていた。参加した児童は、七区地区の歴史とともに土地改良施設の歴史にも触れることができ、地域の新たな発見につながった。



【児島湾七区土地改良区】
昭和37年12月18日設立
地区面積 1,014ha
組合員数 778名
岡山市南区北七区61-1
※令和5年4月1日現在

岡山県の土地改良 題字:石井正弘書 第614号 令和5年11月27日発行

発行所●岡山県土地改良事業団体連合会 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目3番7号 県土連ビル
☎086-225-0921 fax086-226-0068
総務部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館3F・2F
☎086-207-2200 fax086-207-2202 e-mail:info@okadoren.or.jp http://www.okadoren.or.jp
岡山ため池安全管理サポートセンター 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館2F
☎086-207-2324 fax086-272-3937
ため池相談窓口(月、木) ☎086-207-2282
事業部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館2F
☎086-273-2110 fax086-272-3937
事業部技術第三課 〒708-0051 津山市椿高下128-1
☎0868-35-2178 fax0868-35-2179

